

令和6年9月 定例教育委員会 議事録

日 時	令和6年9月30日（月）	開会 17時30分 閉会 18時15分
場 所	教育委員会室	
出席者	教育長	寺岡 悌二
	教育委員	福島 知克（教育長職務代理者）
	教育委員	山本 隆正
	教育委員	新谷 なをみ（議事録署名委員）
	教育委員	田中 淳子
事務局職員	教育部長	矢野 義知
	教育部次長	稲尾 隆
	教育政策課長	森本 悦子
	学校教育課長	宮川 久寿
	社会教育課長	姫野 淳子
	教育政策課参事	時松 哲也
	学校教育課参事	藤内 護
	学校教育課参事兼教育相談センター所長	吉武 功二
	学校教育課参事（共生社会実現・部落差別解消推進課参事併任）	種村 由加
	社会教育課参事兼図書館長	西澤 和江
	教育政策課教育政策係長	加藤 雄海
	教育政策課指導主事	佐藤 元昭
	傍聴人	0名
議事日程	第1 議事録署名委員の指名について 第2 令和6年度「21世紀を担う別府っ子表彰」被表彰者の選考について 【議第37号】	
報告事項	(1) 教育長による事務の臨時代理について【報告第8号】 ※非公開 (2) 令和6年第3回市議会定例会について【報告第9号】	
その他	10月定例教育委員会の開催日程について	

議 事 録

◎ 開 会

寺岡教育長 ただいまより令和6年9月の定例教育委員会を開会いたします。

◎ 議事録署名委員の指名について

寺岡教育長 はじめに、議事日程第1、議事録署名委員の指名につきましては、本日は新谷委員にお願いいたします。
本日の議事のうち、報告第8号 教育長による事務の臨時代理については、人事に関する案件でありますので、別府市教育委員会会議規則第6条第1項の規定により非公開とすることを提案いたします。
お諮りいたします。この案件を非公開とすることに賛成の委員の挙手をお願いいたします。出席者の3分の2以上でありますので、これを非公開とします。また、これにより審査順序を入れ替えたいと思います。報告第8号 教育長による事務の臨時代理についての審議を最後に行います。

◎ 令和6年度「21世紀を担う別府っ子表彰」被表彰者の選考について

寺岡教育長 それでは議事日程第2、議第37号 令和6年度「21世紀を担う別府っ子表彰」被表彰者の選考について提案しますので、事務局から説明いたします。

社会教育課長 それでは、1ページをお願いします。議第37号につきましては、規定により議決を求めるものでございます。
はじめに3ページをご覧ください。「21世紀を担う別府っ子表彰」の顕彰要項を掲載しております。要項の「1趣旨」にありますように、地域活動やボランティア活動などに積極的に取り組んでいる青少年や青少年の育成に貢献している指導者、あるいは団体を発見して顕彰し、その功績を称え、激励するとともに、今後の青少年健全育成の振興に資するものとしております。項番4の表彰基準に基づきまして、項番6にございます各団体から推薦された、個人、団体について、本教育委員会で選考決定をお願いするものでございます。
戻りまして2ページをご覧ください。本年度の推薦の状況です。青少年の部では、個人1名、団体3団体、指導者の部では、個人3名、指導者の部の団体推薦がございませんでしたので、被表彰者の総計は、個人4名、団体3団体となっております。4ページに、被表彰者及び推薦者の一覧、5ページから7ページまでは、それぞれの活動概要を掲載しております。
それでは、今回推薦されました方々の活動概要について簡単に説明させていただきます。

5 ページ 青少年の部個人 1 名です。阿部ことのさんは、「別府市子ども会育成会連合会」のジュニア・リーダースクラブに令和 3 年 4 月に入会し、クラブの研修や地区行事に参加、また、市子連・県子連をはじめ県教育委員会、市教育委員会などの各種事業に、積極的に協力するとともに、市子連ジュニア・リーダーとしての自覚を持ち、自己の研さんに努めております。クラブの発展及び各種行事に対する取組は他の会員の模範であり、後輩会員の指導・助言に努め、会員からも信頼されています。

続きまして 6 ページ、青少年の部団体 3 団体です。1 団体目の古戦場子ども太鼓は、平成 15 年に結成され、別府市鶴見地区全域で繰り広げられた石垣原合戦の様子を太鼓のリズムで表現し、地域の各種イベントに積極的に出演することで、地域交流も活発に行われ、子ども会活動の模範となっています。2 団体目の別府翔青高等学校 J R C 部は、翔青高校の創立以来、別府市等の福祉・ボランティア活動を続け、翔青高校を代表する文化部のひとつとなっています。昨年度の青少年赤十字主催の救急救命法の大会では、「命を救え！救命の連鎖」部門で優勝、また、年間を通して様々な行事、ボランティア活動に参加しています。3 団体目の別府溝部学園高等学校生徒会執行部は、校内、校外に関わらず様々なボランティア活動に積極的に参加しています。ペットボトルキャップ回収は通年で行っており、全校生徒にリサイクルの意識を持たせることができ、回収したペットボトルキャップを別府市リサイクル情報センターへ持ち込み、感謝状の贈呈も受けています。

続きまして 7 ページ、指導者の部個人 3 名です。1 人目の牧裕美さんは、浜脇地区青少年育成協議会の役員として青少年育成活動に携わり、積極的に活動に参加してきました。毎年の南小学校でのあいさつ運動への継続的な参加を行っています。2 人目の河野重義さんは、ボランティアとして、長年にわたり登下校中の園児・児童の様子の見守りを続けています。また、主任児童委員として、子どもたちの安全・安心の視点から、常に通学路を見て回り、地域の方の意見を学校に届け、その結果、学校では、環境整備などに生かすことができています。3 人目の水谷浩一さんは、長年にわたり、朝日校区青少年育成協議会の会長として、朝日地区諸団体及び小中学校などと連携し、朝日校区の青少年の健全育成並びに地域文化継承に尽力いたしました。小中学校運営協議会委員などを務め、前職の教員としての経験を生かした活動にも、貢献されました。以上が、ご推薦をいただいております被表彰候補者の活動概要でございます。

8 ページに、表彰式の実施要領を掲載しております。本年度の表彰式は、11 月 27 日水曜日 16 時から、市役所 5 F 大会議室で開催予定となっております。実施要領につきましては、ご一読願います。以上が、令和 6 年度「21 世紀を担う別府っ子表彰」被表彰者の選考についての説明となります。ご審議の程、よろしく願いいたします。

寺岡教育長 ただいま社会教育課長より説明がございました。これより質疑を行います。教育委員の皆様、何かございますでしょうか。

新谷委員 この別府っ子表彰で表彰された方は、これをとても誇りに感じると思います。私が校長のときは、読み聞かせや地域の清掃などを一生懸命して下さる方がいました。している方々は自分たちが立派だとは思っていないの

ですが、やはり表彰を受けると喜ばれて、これまで以上に頑張ります、というようなことを言われていました。今年は少し少なく感じ、もっといるのではないかなと思いました。気付かないこともあります。休みの日に花壇を作ってくださいている方もいます。出来たら小さなことでもいいのでそういう方を表彰してさしあげると、地域の方に貢献できるのではないかと思います。

社会教育課長 今年、学校からの推薦が亀川小学校からのみになっておりますので、その辺はまた学校のほうに周知させていただきたいと思います。

寺岡教育長 その他はよろしいでしょうか。では、特に質疑等もないようでございますので、以上で質疑を打ち切り、議第 37 号は原案に対し議決することにご異議ございませんか。

※異議なし

寺岡教育長 ご異議もないようでございますので、議第 37 号は議決することに決定いたしました。

◎ 報告事項（2）

寺岡教育長 次に報告事項に入ります。報告第 9 号 令和 6 年第 3 回市議会定例会について報告します。詳細は事務局から説明いたします。この件につきましては、事前にお配りした別冊資料「令和 6 年第 3 回市議会定例会資料」に教育委員会関連の質問と答弁の内容をまとめております。質問と答弁の中で、特に重要と思われるものを事務局より説明させていただきます。

※ 各担当課長より議案質疑、予算決算特別委員会及び一般質問にかかる質疑応答の概要をそれぞれ報告した。

寺岡教育長 ただいま各課長より報告がございました。これより質疑を行います。各課長から説明があったもの以外でも結構です。教育委員の皆様、何かございますでしょうか。

新谷委員 学校教育課の 17 番、専門的な知識を有するスクールソーシャルワーカーのところですか。ここに成果というものを書いているのですが、スクールソーシャルワーカーが入ってこういうことができたとか、学校教育課で把握していることでいいので、何か顕著な例などひとつでもあればお話していただけますか。

**学校教育課参事
兼教育相談センター所長** ネグレクト等によって生育環境が厳しい子どもに対して、スクールソーシャルワーカーが保護者等と接する中で、福祉機関を通じて、また児童相談所等含めて改善に向かって取り組んでいるところがございます。

新谷委員 学校教育課の18番です。外国人講師がタブレットを用いて小学生とコミュニケーションをとると書いてありますが、これはALTではなくて、英会話学校の講師と小学生がタブレットで練習するという形ですか。

学校教育課長 教育研究指導に要する経費の中のオンライン英会話と言われるもので、小学校6年生を対象にこの授業を展開しております。今回はフィリピン在住の英語教師とネイティブな英語でやりとりをするというものでございます。外国語の授業の中で実施をするものになります。

新谷委員 では、具体的にどのくらいの頻度で行って、どんな児童の感想があったかなど、分かれば教えてください。

寺岡教育長 6年生対象で、年に3回ですね。

学校教育課長 児童からは「前回よりも先生が言ったことが聞き取れた。でも分からない単語があったのでもっと勉強して分かるようになりたい」「前回よりも今回の方がフィリピンの人と話せるようになり、距離が近くなったような感じがして嬉しかった」などの感想がありました。

新谷委員 別府市が雇用しているALTの方が各小中学校に行くのですが、それプラス英会話学校の講師とオンライン英会話を行う大きな目的と、これを行うことによるALTとは違う効果が知りたいです。ALTは対面で話をするのでとても分かりやすいし、子どもの実態に合わせて英語の先生が準備した指導案を変えて、こうしたらどうかというような打ち合わせをしながらするのですけども、これを取り入れた理由とか、何か具体的なものがあれば教えてください。

学校教育課長 導入に関しましては、ALTとのやりとりということを踏まえた上で、導入しています。その理由としては、ALTはクラスに30人や35人いれば個別にやりとりすることもあるのですが、どうしても35対1みたいな感じでやりとりすることがあります。ですが、このオンライン英会話は1対1でやりとりをしていきます。そこでネイティブの英語で子どもたちがやりとりをするというのが大きな特徴のひとつであると思っています。

新谷委員 私がよく分かっていなかったのですが、例えば児童が20人いたら、この英会話の講師が20人いて、20人の先生と、例えば20分間とか25分間とかずっと会話するんですか。

学校教育課長 そこまでの時間はないのですが、基本的なやりとりは1対1です。そして20人の子どもに対して20人の英会話の先生がいるわけではないです。もっと数は少ないのですが、個別でやりとりをするということがひとつの特徴としてあります。

新谷委員 では、ALTとは違って、全員とネイティブの先生がやりとりできるというところがいいところというか、取り入れた理由ということですね。分かりました。

田中委員 8ページの阿部議員のところです。(2)の③「通級指導教室の対象者と指導内容、市内の設置状況は」と書いているところで、「自閉症情緒障がいのある児童生徒が対象で」と書いていますが、情緒障がい学級に入れなかった自閉症スペクトラムの子どもが通級をしたいと言った場合はどういう対応になるのですか。

**学校教育課参事
兼教育相談センター所長** 通級が1校しか県から認められておりませんので、1人の担当者が通級指導教室をしているのですが、現実問題として、入る余地がない、今のところ受け入れる余地がないような状況になっております。だからといって、その子どもたちの対応をしないというわけではないのですが、希望があったときには、その学校、それから保護者等としっかり話をしていかなければいけないと考えております。

寺岡教育長 昨年まで通級が3校あったのですが、1校になりました。県の意向でもっと大変な市町村があるということですね。

**学校教育課参事
兼教育相談センター所長** 別府市としては、年3回、新1年生になる幼稚園児、保育園児等を対象にして就学相談会を実施しております。その中で、個別に保護者等に支援学校、支援学級、もしくは学校でできる支援等についてのお話をしているところでございますけれども、来週の月曜日にもありますけれども、丁寧に説明したいと思います。

田中委員 幼稚園から小学校に入るケースで、幼稚園もしている、学校教育課も今度10月12日、そして11月、9月に3回あって、それ以外にも保護者が希望するのであれば対応しますという真摯な対応を言われているみたいですが、なかなか委員会の思いと、保護者に伝わっている情報というのがうまくいってないのは何なんだろうな、何が課題なんだろうななどちょっと思いました。

学校教育課長 保護者に対する支援委員会ですとかいろんな情報提供につきましては、今後もどういったことをすればきちんと保護者に情報が伝わるのか、そういったところを考え、丁寧に対応していきたいというふうに考えます。

福島委員 18番のところです。「タブレットを活用した外国人講師と英会話」とあって、その下に「児童の英語への意欲向上に向け、効果的な実施が必要」と書いてあるところで、イエスタデイとかスタンドバイミーとか英語の歌の訳をちゃん覚えさせると、いろんなフレーズが分かってきて、英語への意欲が沸くのではないかと思います。

新谷委員 実はクラウンの3年生の1学期の最初のところにスタンドバイミーというレッスンがあるんです。その中で歌を聞かせてするところがあります。

福島委員 ですが、覚えてないんですよ。日本語訳がちゃんとできた上で、いつでも言えるように子どもに覚えさせるといいのではないかという意見です。ぜひやってほしいです。

学校教育課長 はい、ありがとうございます。実際にやっている先生方も中にはいらっしやるかなと思いますので、そういったことを例に挙げながら、子どもたちが興味関心を持てるような、意欲が高まるような取組のひとつとして、またご紹介させていただきたいと思います。

寺岡教育長 その他はよろしいでしょうか。では、他に質疑等もないようでございますので、以上で質疑を打ち切ります。

◎ その他（１）

【概要】 ※令和６年 10 月定例教育委員会の開催日程について、令和６年 10 月 29 日（火）17：30 より開催することが決まった。

◎ 報告事項（１） ※非公開

寺岡教育長 ここからは非公開となります。
報告第 8 号 教育長による事務の臨時代理について報告します。詳細は事務局から説明いたします。

以下非公開

◎ 閉会

寺岡教育長 以上をもちまして、令和 6 年 9 月定例教育委員会を閉会いたします。本日はお疲れさまでした。

・発言の内容について、単純ミスと思われる字句、重複した言葉づかい等を整理の上作成しています。